

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	アソビシロ
役職	
氏名	田尻泰崇
着任日	令和6年6月1日

活動月	令和6年12月（着任6ヶ月）
主な活動	1. 今年の振り返り 2. 三高展【書道パフォーマンス】 3. 断熱化プロジェクトと魅力化促進に関して

1. 今年の振り返り

協力隊に就任してから半年が経ちました。

南九州市での生活も半年になります。この半年は色々な方面の方々にお世話になりとても濃い時間を過ごせています。

まずは移住者である私を受け入れてくださった市の職員、地域住民の皆様、学校職員の皆様、日頃から沢山のことに協力してくださりありがとうございます。生活のことも仕事のこともどちらもとても助かっています。南九州市の生活は時間の過ぎ方が違います。

あ、と言っても速さ的には速く感じるのですが、静かに過ぎていく感覚があるのです。

都内で生活していた時も時間の速さは速く感じていましたが、喧騒や匂い、人の密接度もどれも異なります。半年で慣れてこちらの生活は穏やかだなとしんみりと感じる場面が多々ありました。12月の活動としてはこの半年で徐々に歩んできた学校との活動が多かったです。SNSをどのように運用していくか企画ミーティングを行い、実際に撮影・編集してアップロード等しました。また、後に記載しますが、高校の活性化のためのプロジェクトに呼んでもらったりとコーディネーターとして期待していただいているのかなと感じております。

これからもその期待に応えられるように様々な部分でサポート、コーディネート頑張ろうと思います。もちろん一人では無理なので私の周りにいてくださる方々を大切にしつつ、一緒に頑張っていけたらと思っています。皆様、お力添え引き続きよろしくお願い致します。

2. 三高展【書道イベント】

知覧ミュージアムにて三高展という【川辺高校・薩南工業高校・頤娃高校】の書道部がタッグを組んで展示会を行うイベントが行われています。（1月14日まで）それに際して12月21日に川辺高校と薩南工業高校の書道部が会場にてパフォーマンスを行いました。

展示では今まで書道部が制作した作品たちが飾られ、ミュージアムの彩りに活気が増しています。其々の高校の制作した個性も出ており、その字を見ていると部員たちが今までどのように練習してきたのか、そして、その字を書いている部員の「人柄」が垣間見えるような面白さを感じる展示となっています。PCの普及によって誰かが実際に書く字を見ることは普段の生活で減っていると思います。そのような状況の中で「人」が書いた「字」をじっくり見る時間があれば、もしかしたら物事の見え方も違った見方を見つけることができるかもしれません。もしお時間ありましたら是非見に行ってみてください。

話は戻りますが、そのような字の力を存分に感じることができるようなパフォーマンスを見せていただきました。真剣な表情で文字を描き、完成した作品が披露されたとき迫力に圧倒されました。文字の力を感ずることができて感激でした。この瞬間は動画に収めて、編集したのちに川辺高校のInstagramに動画を上げてあります。こちらもお時間ありましたら是非ご覧ください。

3. 断熱化プロジェクトと魅力化促進に関して

タイトルをみて断熱化プロジェクトとは？という疑問が湧いてきたかもしれません。このプロジェクトは私の協力隊としてのミッションの【高校の広報・宣伝】の魅力の一つになります。教室に断熱材を埋め込んで、教室の温度を保つという内容のプロジェクトになっています。学生が断熱材を取り扱う業者や工事を行う地域の職人さんたちと交流しながら、自分たちが勉強する教室の改修を行うという活動は、入学する時の学校を決める基準の一つにもなっているようです。【実際に断熱化プロジェクトをやりたいと思って入った在校生から聞きました】

さて、今回はこのプロジェクトの結果をレポートや報告書という形にするために学生、高校の先生方、大学講師、地域住民、コーディネーターという枠組みで議会が開かれました。今後、学生たちがどのように形にしていくか、そして断熱化プロジェクトだけでなく他にやりたいことがあるか話し合いがなされました。10数名の学生も参加し沢山のアイデアが出ました。

新しいアイデアは学生たちと共に形にしていって、学生たちの財産となればいいなと思っています。そしてその財産が、川辺高校を盛り上げるものにもなるはずです。

これからも続けて断熱プロジェクトの結果作成、新プロジェクトの始動を高校の先生方、大学講師、地域住民の方々と共に学生たちのサポートを頑張っていきます。